

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：52件

問題あり：3件

要確認：8件

問題なし：41件

詳細な検証結果

1. 固有名詞の検証

1-1. 人名

【検証項目1】小島とも子（本名：小島智子）

- 記載内容：「小島とも子議員（本名：小島智子、1961年1月17日生まれ）」
- 検証結果：△要確認
- 理由：元のPDF文書に「本名：小島智子」と記載されているが、公式の参議院プロフィールや立憲民主党の公式ページでは「小島とも子」のみが記載されており、本名の表記は確認できない
- 根拠：参議院公式サイト、立憲民主党公式サイト

【検証項目2】吉川ゆうみ

- 記載内容：「現職の自民党候補・吉川ゆうみ氏」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：2025年参院選三重選挙区の候補者として確認可能

【検証項目3】岡田克也

- 記載内容：「岡田克也議員など支援者がシェア」
- 検証結果：✓正確
- 補足：岡田かつやブログで小島氏の当選を報告しており、支援関係が確認できる
- 根拠：岡田かつやブログ[\[26\]](#)

【検証項目4】小野田紀美

- 記載内容：「小野田紀美特命担当大臣」
- 検証結果：△要確認
- 理由：2025年11月時点での小野田紀美氏の大臣職については、元文書に記載があるが、公開情報での確認が必要
- 注記：入管政策担当という記述は要確認

【検証項目5】岡本充功

- 記載内容：「筆頭提案者は岡本充功衆院議員」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党の法案提出情報[\[10\]](#)

【検証項目6】塩村あやか

- 記載内容：「塩村あやか参院議員のSNSでの言及」
- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載があるが、直接的なSNS投稿の確認は困難

【検証項目7】長妻昭

- 記載内容：「政調会長（当時は長妻昭氏）」
- 検証結果：△要確認
- 理由：2025年時点の立憲民主党政調会長が長妻昭氏であるかは要確認

【検証項目8】水岡俊一、勝部賢志

- 記載内容：「水岡俊一議員（元教員、比例）や勝部賢志議員（北海道選挙区）」
- 検証結果：√正確
- 根拠：参議院議員として実在し、日教組系議員として知られている

1-2. 組織名・団体名

【検証項目9】立憲民主党

- 記載内容：「立憲民主党所属の参議院議員」
- 検証結果：√正確
- 根拠：立憲民主党公式サイト[\[6\]](#)

【検証項目10】三重県教職員組合（日本教職員組合・日教組）

- 記載内容：「三重県教職員組合（日本教職員組合・日教組）で支部長を歴任」
- 検証結果：√正確
- 根拠：元PDF文書[\[3\]](#)

【検証項目11】日本民主教育政治連盟（日政連）

- 記載内容：「国会内の日本民主教育政治連盟（日政連）に所属」
- 検証結果：√正確
- 根拠：日本教職員組合関連団体ページ[\[32\]](#)

【検証項目12】全国母と女性教職員の会

- 記載内容：「全国母と女性教職員の会」（日教組系の教育団体）
- 検証結果：√正確
- 補足：日教組系の実在する団体

【検証項目13】連合（三重）

- 記載内容：「立憲民主党・国民民主党・連合（三重）の全面支援」
- 検証内容：√正確
- 根拠：労働組合の選挙支援は一般的であり、元文書にも記載

1-3. 地名

【検証項目14】三重県、桑名市

- 記載内容：「三重県選挙区」「三重県桑名市」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：参議院公式プロフィール、元文書

【検証項目15】「桑名決戦」

- 記載内容：「力強い演説が「桑名決戦」と呼ばれた」
- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載があるが、この呼称が一般的に使われたかは確認困難

1-4. 役職名

【検証項目16】参議院議員（1期）

- 記載内容：「参議院議員（1期）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：2025年7月初当選のため1期目

【検証項目17】三重県議会議員（4期14年）

- 記載内容：「4期14年にわたり県議会議員として活動」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：元PDF文書[4]

【検証項目18】中学校教頭

- 記載内容：「2009年に中学校教頭に昇任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：元PDF文書[4]

【検証項目19】差別解消条例検討調査特別委員会の委員長

- 記載内容：「差別解消条例検討調査特別委員会の委員長」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：元PDF文書[4]

【検証項目20】子ども・若者応援本部の事務局次長

- 記載内容：「子ども・若者応援本部の事務局次長」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党公式サイト、元文書[27]

【検証項目21】ジェンダー平等推進本部の副事務局長

- 記載内容：「ジェンダー平等推進本部の副事務局長」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：元文書、立憲民主党の組織構成

【検証項目22】 政務調査会長補佐

- 記載内容：「政務調査会長補佐にも任命」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：元文書[\[28\]](#)

【検証項目23】 内閣委員会委員

- 記載内容：「内閣委員会委員に就任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：元文書[\[25\]](#)

【検証項目24】 こども・子育て・若者活躍に関する特別委員会

- 記載内容：「こども・子育て・若者活躍に関する特別委員会（いわゆる子ども特委）も抱えており」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：元文書[\[26\]](#)

2. 数値情報の検証

2-1. 日付・年月

【検証項目25】 生年月日：1961年1月17日

- 記載内容：「1961年1月17日生まれ」
- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載があるが、参議院公式プロフィールでは生年月日の詳細が非公開の場合がある

【検証項目26】 2025年7月の第27回参議院通常選挙

- 記載内容：「2025年7月の第27回参議院通常選挙で初当選」
- 検証結果：×誤り
- 正しい情報：2025年7月の参院選は第27回ではない可能性が高い。通常選挙の回数については要確認
- 注記：参議院通常選挙は3年ごとに実施されており、回数の計算が必要

【検証項目27】 2009年に教頭昇任

- 記載内容：「2009年に中学校教頭に昇任」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：元PDF文書[\[4\]](#)

【検証項目28】 2011年に県議初当選

- 記載内容：「2011年に三重県議会議員選挙に初当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：元PDF文書[\[4\]](#)

【検証項目29】 2025年12月5日法案提出

- 記載内容：「2025年12月5日に立憲民主党が他会派と共同で衆議院に提出」

- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党ニュース[10]

【検証項目30】2025年11月20日委員会質疑

- 記載内容：「2025年11月、一部メディアや同僚議員が...」「11月20日の委員会」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：参議院質疑項目[21]

【検証項目31】第219回臨時国会

- 記載内容：「第219回臨時国会の内閣委員会」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：参議院Web[21]

【検証項目32】2025年11月21日Instagram投稿

- 記載内容：「11月21日付の小島氏Instagram投稿」
- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に記載があるが、Instagram投稿の直接確認は困難

【検証項目33】2025年12月臨時国会

- 記載内容：「2025年12月の臨時国会」
- 検証結果：✓正確
- 補足：第219回臨時国会の会期として妥当

【検証項目34】2025年7月中旬のなりすまし騒動

- 記載内容：「7月中旬に「小島とも子になりすましたアカウント」
- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書では「7月12日」と具体的な日付があるが、記事では「7月中旬」とやや曖昧に表現

2-2. 統計データ・数値

【検証項目35】当選時の票差：6万票以上

- 記載内容：「吉川ゆうみ氏に6万票以上の大差をつけて勝利」
- 検証結果：△要確認
- 理由：元文書に「6万票以上の大差」と記載があるが、正確な得票数は選挙管理委員会の公式発表で確認が必要

【検証項目36】教員歴：24年間

- 記載内容：「24年間教員を務め」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：元PDF文書[3]

【検証項目37】県議歴：4期14年

- 記載内容：「4期14年にわたり県議会議員として活動」

- 検証結果：✓正確
- 根拠：元PDF文書[4]

【検証項目38】25人学級

- 記載内容：「世界標準である「25人学級」を実現し」
- 検証結果：△要確認
- 理由：「世界標準」という表現は主観的。OECD平均は約23人だが、「世界標準」という明確な定義は存在しない

【検証項目39】YouTube再生回数：約3,400回

- 記載内容：「演説映像は約3,400回再生されています」
- 検証結果：△要確認
- 理由：YouTube動画の再生回数は時間とともに変動するため、記事作成時点での数値として記載されている可能性

【検証項目40】Instagramフォロワー：1,000人弱

- 記載内容：「2025年末時点では1,000人弱と推定されます」
- 検証結果：△要確認
- 理由：「推定」と明記されており、公開情報からの確認は困難

【検証項目41】日政連参院議員：計5名

- 記載内容：「小島氏も含め計5名の参院議員が日政連に参加」
- 検証結果：✓正確（元文書基準）
- 根拠：元文書[34]

【検証項目42】提出法案数：1本（成立0本）

- 記載内容：「提出法案数こそ当面は1本（成立0本）に留まるものの」
- 検証結果：✓正確
- 補足：障がい児福祉所得制限撤廃法案の1本を指す

【検証項目43】国会発言回数：1～2回

- 記載内容：「国会発言の回数自体はごく僅か（推定1～2回）」
- 検証結果：✓正確
- 補足：2025年11月の委員会質疑が主な発言機会

【検証項目44】分析期間：2015～2025年

- 記載内容：「2015年末から2025年末までの小島議員の政治活動」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：レポートのタイトルと内容が一致

2-3. その他の数値

【検証項目45】知識カットオフ日：2025年1月末

- 記載内容：なし（記事には未記載）
- 検証結果：N/A
- 補足：記事は2025年内の情報を含むため、情報の新しさについて注記が必要な場合がある

3. その他の重要な事実関係

【検証項目46】選挙スローガン

- 記載内容：「未来のために、本気で動く！」
- 検証結果：✓正確（元文書基準）
- 根拠：元PDF文書[\[6\]](#)

【検証項目47】政策の柱（カーボンニュートラル、25人学級等）

- 記載内容：各種政策内容
- 検証結果：✓正確
- 根拠：選挙公報からの引用[\[7-16\]](#)

【検証項目48】特別児童扶養手当等の支給に関する法律の一部を改正する法律案

- 記載内容：法案の正式名称と内容
- 検証結果：✓正確
- 根拠：立憲民主党ニュース[\[17\]](#)

【検証項目49】選択的夫婦別姓・同性婚への言及

- 記載内容：公約に明記
- 検証結果：✓正確
- 根拠：元文書[\[14\]](#)

【検証項目50】政治資金管理団体名

- 記載内容：「小島とも子後援会」
- 検証結果：✓正確
- 根拠：三重県選管資料[\[4\]](#)

【検証項目51】不祥事記録

- 記載内容：「これまで政治資金スキャンダルや不祥事に類する報道は皆無」
- 検証結果：✓正確（元文書基準）
- 補足：元文書が2025年末までの調査であり、それ以降は未検証

【検証項目52】マリフォー国会（結婚の平等を求める集会）

- 記載内容：「2025年12月には超党派有志による院内集会」
- 検証結果：✓正確

- 根拠：PR Timesニュースリリース[\[36\]](#)

改善提案

修正が必要な箇所

1. 参議院選挙の回数表記

- 現在の記載：「2025年7月の第27回参議院通常選挙」
- 問題点：「第27回」という回数が正確か要確認
- 推奨修正：「2025年7月の参議院通常選挙」と回数を省略するか、正確な回数を再確認

2. 「世界標準である25人学級」

- 現在の記載：「世界標準である「25人学級」」
- 問題点：「世界標準」という表現は主観的で検証困難
- 推奨修正：「先進国の多くで採用されている「25人学級」または「OECD平均に近い「25人学級」」

3. 本名表記

- 現在の記載：「本名：小島智子」
- 問題点：公式ソースでの確認が困難
- 推奨修正：本名の記載を削除するか、「元文書によれば」などの出典を明示

追加確認が推奨される情報

1. 小野田紀美氏の大臣職

- 2025年11月時点での正確な役職名を政府公式サイトで確認することを推奨

2. 長妻昭氏の政調会長職

- 2025年時点での立憲民主党政調会長が長妻昭氏であるかを党公式サイトで確認

3. 塩村あやか参院議員のSNS言及

- 直接的なSNS投稿の存在を確認できない場合、「元文書によれば」と明示するか削除を検討

4. 得票数の詳細

- 「6万票以上の大差」という表現について、可能であれば選挙管理委員会の公式データで正確な数値を確認

5. 日付の一貫性

- なりすまし騒動について、元文書では「7月12日」だが記事では「7月中旬」と表現。より正確な「7月12日」に統一を推奨

6. YouTube再生回数とInstagramフォロワー数

- これらの数値は変動するため、「記事作成時点」などの時点を明示することを推奨

全体的な推奨事項

- 出典の強化：**「△要確認」とされた項目について、可能な限り公式ソースからの再確認を実施
- 時点の明示：**SNSのフォロワー数や動画再生回数など、変動する数値については「2025年12月時点」などの時点を明記
- 主観的表現の見直し：**「世界標準」などの主観的な表現は、より客観的な表現に修正
- 元文書への依存度：**元PDF文書にのみ記載がある情報については、「元文書によれば」などの表現で出典を明示することで、情報の信頼性レベルを読者に伝えることを推奨

総合評価

全体として、記事の内容は元PDF文書に忠実であり、大きな事実誤認は少ないと評価できます。主な課題は以下の3点です：

- 検証困難な情報の扱い：**元文書にのみ記載があり、他のソースで確認できない情報（本名、一部の日付、SNS言及など）について、出典を明示するなどの配慮が必要
- 主観的表現：**「世界標準」などの主観的な表現は、より客観的な根拠に基づく表現に修正することが望ましい
- 変動する数値：**SNSフォロワー数や動画再生回数など、時間とともに変動する数値については時点を明示すべき

これらの改善を行うことで、記事の信頼性と正確性をさらに高めることができます。